

問1 たたきぞめを行うとき、葉の液をろ紙にうつしとった後、でんぷんがあるかを調べるために使う液は何ですか。

1. ヨウ素液                      2. 石灰水                      3. 水                              4. アルコール

問2 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物の成長に必要な栄養分は何ですか。

1. でんぷん                      2. 水                              3. 二酸化炭素                      4. 酸素

問3 日光が当たっていない葉や、日光に当てる前の葉における、でんぷんのようすについて正しいものはどれですか。

1. でんぷんは生じていない。                      2. でんぷんが少しだけ生じている。                      3. でんぷんが日光に当たった葉と同じくらい生じている。                      4. でんぷんが日光に当たった葉よりも多く生じている。

問4 葉のうら側にたくさんあり、水蒸気が出ていくための小さなあなのことを何といいますか。

1. 葉のうら側のあな                      2. 葉のすじ                      3. 茎<sup>くき</sup>のくだ                      4. 根の毛

問5 植物がたえず行っている、酸素を取り入れて二酸化炭素を出すはたらきと、日光が当たるときに二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきをまとめて何といいますか。

1. 植物の養分づくり                      2. 植物の水の通り道                      3. 植物の水の吸い上げ                      4. 植物の気体交換<sup>こうかん</sup>

問6 植物が根から取り入れている、生きるために必要なほとんどのものは何ですか。

1. 日光                              2. 水                              3. 空気                              4. 土

問7 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。

1. 茎<sup>くき</sup>                              2. 根                              3. 花                              4. 葉

問8 植物の葉にある「気こう」の性質について、正しく説明しているものはどれですか。

1. 葉の表側よりも、裏側に多くある。                      2. 光を浴びるとデンプンをつくる。                      3. 赤色や青色の絵の具を吸い上げる。                      4. 根の先端<sup>せんたん</sup>に一番多く集まっている。

問9 植物の体の中にある「水の通り道」は、植物のどの部分にありますか。

1. 根、くき、葉                      2. 根とくきだけで、葉にはない                      3. くきと葉だけで、根にはない                      4. 花と実だけで、根やくきにはない

問10 植物に日光が十分に当たっているとき、植物が行う気体の出し入れは全体としてどのようになりますか。

1. 酸素も二酸化炭素も、どちらもまったく出し入れしなくなる。                      2. 酸素を吸収して、二酸化炭素を出すはたらきの方が盛んになる。                      3. 二酸化炭素を吸収して、酸素を出すはたらきの方が盛んになる。                      4. 窒素<sup>ちっそ</sup>を吸収して、二酸化炭素を出すはたらきの方が盛んになる。

問11 植物の葉につくられる「でんぷん」は、植物にとってどのような役割がありますか。

1. 植物が成長するための養分になる。                      2. 植物の体を冷やす役割がある。                      3. 根から水を吸い上げるのを助ける。                      4. 葉の緑色<sup>こ</sup>を濃くする役割がある。

問12 葉にでんぷんがあるかどうかを調べる実験で、葉をやわらかくするために、最初にお湯を使って行う作業は何ですか。

1. 葉を煮<sup>に</sup>る                              2. 葉を冷やす                      3. 葉を乾燥<sup>かんそう</sup>させる                      4. 葉を水で洗う

問13 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物が成長するために必要な養分の名前は何ですか。

1. でんぷん                      2. 二酸化炭素                      3. 水                              4. 酸素

問14 植物のからだの中にある水が、水蒸気になって外に出ていく現象を何といいますか。

1. 蒸散                              2. 光合成                      3. 呼吸                              4. 吸水

問15 根から取り入れられてくきまで運ばれた水は、このあと植物のどの部分へと流れていきますか。

1. 実                              2. 葉                              3. 土                              4. 花

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 1 ヨウ素液	たたきぞめでは、ろ紙にうつしとった葉の液にヨウ素液をつけて、でんぷんがあるかを確かめます。
問2	答え 1 でんぷん	植物の葉に日光が当たると、でんぷんという栄養分がつくられます。
問3	答え 1 でんぷんは生じていない。	日光が当たっていない葉や、日光に当てる前の葉には、でんぷんは生じません。
問4	答え 1 葉のうら側のあな	葉のうら側にたくさんある、水蒸気が出ていくための小さなあなを「葉のうら側のあな」といいます。
問5	答え 4 植物の気体交換 <small>こうかん</small>	植物は、酸素と二酸化炭素を出し入れする気体交換 <small>こうかん</small> を行っています。これには、たえず行う呼吸と、日光が当たるときに盛んになるはたらきがあります。
問6	答え 2 水	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問7	答え 2 根	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問8	答え 1 葉の表側よりも、裏側に多くある。	気こうは、多くの植物で葉の表側よりも裏側に多く存在しており、裏側からより多くの水蒸気が出ていきます。
問9	答え 1 根、くき、葉	水の通り道は、根からとり入れた水を全身に運ぶため、根、くき、葉のすべてにつながっています。
問10	答え 3 二酸化炭素を吸収して、酸素を出すはたらきの方が盛んになる。	植物は呼吸で酸素を取り入れ二酸化炭素を出していますが、日光が当たると、二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきの方が盛んになります。
問11	答え 1 植物が成長するための養分になる。	でんぷんは、植物が成長するために使われる大切な養分です。
問12	答え 1 葉を煮る <small>に</small>	葉のでんぷんを調べる実験では、最初にお湯で葉がやわらかくなるまで煮る作業を行います。
問13	答え 1 でんぷん	植物の葉に日光が当たると、植物の成長に必要な「でんぷん」という養分がつくられます。
問14	答え 1 蒸散	植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象を蒸散といいます。
問15	答え 2 葉	根から取り入れられた水は、根からくきを通ったあと、葉へと流れていきます。



## 答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 1 水蒸気	葉のうら側のあなは、植物のからだの中にある水蒸気を外へ逃がすためのあなです。
問2	答え 3 二酸化炭素を吸収して、酸素を出すはたらきの方が盛んになる。	植物は呼吸で酸素を取り入れ二酸化炭素を出していますが、日光が当たると、二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきの方が盛んになります。
問3	答え 1 植物が成長するための養分になる。	でんぷんは、植物が成長するために使われる大切な養分です。
問4	答え 1 葉をやわらかくするため	葉のでんぷんを調べる際、最初にお湯で煮るのは、葉をやわらかくするためです。
問5	答え 1 水蒸気になってからだの外に出ていく。	蒸散は、植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象のことです。
問6	答え 4 植物の気体交換 <small>こうかん</small>	植物は、酸素と二酸化炭素を出し入れする気体交換 <small>こうかん</small> を行っています。これには、たえず行う呼吸と、日光が当たるときに盛んになるはたらきがあります。
問7	答え 1 でんぷん	植物の葉に日光が当たると、でんぷんという栄養分がつけられます。
問8	答え 3 根 → くき → 葉	植物の体の中では、根から取り入れられた水が、根からくき、くきから葉へと順番に流れていきます。
問9	答え 2 葉	根から取り入れられた水は、根からくきを通ったあと、葉へと流れていきます。
問10	答え 1 根、くき、葉	水の通り道は、根からとり入れた水を全身に運ぶため、根、くき、葉のすべてにつながっています。
問11	答え 1 青むらさき色に変わる	ヨウ素液は、でんぷんに反応すると青むらさき色に変化する性質があります。
問12	答え 1 葉のうら側のあな	葉のうら側にたくさんある、水蒸気が出ていくための小さなあなを「葉のうら側のあな」といいます。
問13	答え 2 気こう	植物の葉の表面にある小さな穴を「気こう」と呼び、ここから水が水蒸気となって出ていきます。
問14	答え 1 水の通り道	植物の根から吸い上げられた水が全身に運ばれるための管を「水の通り道」といいます。
問15	答え 2 水	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問16	答え 1 ヨウ素液	植物の葉にでんぷんがあるかどうかを調べるには、ヨウ素液という液を使います。

問1 日光が当たっていない葉や、日光に当たる前の葉における、でんぷんのような糖について正しいものはどれですか。

1. でんぷんは生じていない。      2. でんぷんが少しだけ生じている。      3. でんぷんが日光に当たった葉と同じくらい生じている。      4. でんぷんが日光に当たった葉よりも多く生じている。

問2 植物が根から取り入れている、生きるために必要なほとんどのものは何ですか。

1. 日光      2. 水      3. 空気      4. 土

問3 たたきぞめを行うとき、葉の液をろ紙にうつしとった後、でんぷんがあるかを調べるために使う液は何ですか。

1. ヨウ素液      2. 石灰水      3. 水      4. アルコール

問4 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。

1. 茎      2. 根      3. 花      4. 葉

問5 ヨウ素液をでんぷんにつけたとき、液の色はどのように変化しますか。

1. 青むらさき色に変わる      2. 赤色に変わる      3. 白くにごる      4. 黄色に変わる

問6 葉のうら側のあなから、植物のからだの外に出ていくものは何ですか。

1. 水蒸気      2. デンプン      3. 土のつぼ      4. 肥料

問7 葉にでんぷんができていないかを調べる実験で、ヨウ素液による色の変化を見やすくするために、葉の緑色をぬくときに使う液体は何ですか。

1. エタノール      2. ヨウ素液      3. 食塩水      4. 石灰水

問8 植物の葉につくられる「でんぷん」は、植物にとってどのような役割がありますか。

1. 植物が成長するための養分になる。      2. 植物の体を冷やす役割がある。      3. 根から水を吸い上げるのを助ける。      4. 葉の緑色を濃くする役割がある。

問9 植物の葉にある「気こう」の性質について、正しく説明しているものはどれですか。

1. 葉の表側よりも、裏側に多くある。      2. 光を浴びるとデンプンをつくる。      3. 赤色や青色の絵の具を吸い上げる。      4. 根の先端に一番多く集まっている。

問10 葉のうら側にたくさんあり、水蒸気が出ていくための小さなあなのことを何といいますか。

1. 葉のうら側のあな      2. 葉のすじ      3. 茎のくた      4. 根の毛

問11 植物の体の中にある「水の通り道」は、植物のどの部分にありますか。

1. 根、くき、葉      2. 根とくきだけで、葉にはない      3. くきと葉だけで、根にはない      4. 花と実だけで、根やくきにはない

問12 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物の成長に必要な栄養分は何ですか。

1. でんぷん      2. 水      3. 二酸化炭素      4. 酸素

問13 葉のでんぷんを調べる実験の最初に、お湯で葉を煮るのは何のためですか。

1. 葉をやわらかくするため      2. 葉の色を濃くするため      3. 葉をかたくするため      4. 葉のでんぷんを増やすため

問14 植物がたえず行っている、酸素を取り入れて二酸化炭素を出すはたらきと、日光が当たるときに二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきをまとめて何といいますか。

1. 植物の養分づくり      2. 植物の水の通り道      3. 植物の水の吸い上げ      4. 植物の気体交換

問15 葉のでんぷんを調べる実験で、葉をあたためたエタノールに入れるのはなぜですか。

1. 葉の緑色をぬいて、ヨウ素液による色の変化を見やすくするため。      2. 葉を青紫色に染めて、でんぷんがある場所をわかりやすくするため。      3. 葉をやわらかくして、ヨウ素液がしみこみやすくするため。      4. 葉の表面のあなをふさいで、でんぷんが外に逃げないようにするため。

## 答え合わせ・解説 No.3

問1	<b>答え 1</b> でんぷんは生じていない。	日光が当たっていない葉や、日光に当てる前の葉には、でんぷんは生じません。
問2	<b>答え 2</b> 水	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問3	<b>答え 1</b> ヨウ素液	たたきぞめでは、ろ紙にうつしとった葉の液にヨウ素液をつけて、でんぷんがあるかを確認します。
問4	<b>答え 2</b> 根	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問5	<b>答え 1</b> 青むらさき色に変わる	ヨウ素液は、でんぷんに反応すると青むらさき色に変化する性質があります。
問6	<b>答え 1</b> 水蒸気	葉のうら側のあなは、植物のからだの中にある水蒸気を外へ逃がすためのあなです。
問7	<b>答え 1</b> エタノール	葉の緑色をぬいてヨウ素液の色の変化を見やすくするために、あたためたエタノールが使われます。
問8	<b>答え 1</b> 植物が成長するための養分になる。	でんぷんは、植物が成長するために使われる大切な養分です。
問9	<b>答え 1</b> 葉の表側よりも、裏側に多くある。	気こうは、多くの植物で葉の表側よりも裏側に多く存在しており、裏側からより多くの水蒸気が出ていきます。
問10	<b>答え 1</b> 葉のうら側のあな	葉のうら側にたくさんある、水蒸気が出ていくための小さなあなを「葉のうら側のあな」といいます。
問11	<b>答え 1</b> 根、くき、葉	水の通り道は、根からとり入れた水を全身に運ぶため、根、くき、葉のすべてにつながっています。
問12	<b>答え 1</b> でんぷん	植物の葉に日光が当たると、でんぷんという栄養分がつけられます。
問13	<b>答え 1</b> 葉をやわらかくするため	葉のでんぷんを調べる際、最初にお湯で煮るのは、葉をやわらかくするためです。
問14	<b>答え 4</b> 植物の気体交換 <small>こうかん</small>	植物は、酸素と二酸化炭素を出し入れする気体交換 <small>こうかん</small> を行っています。これには、たえず行う呼吸と、日光が当たるときに盛んになるはたらきがあります。
問15	<b>答え 1</b> 葉の緑色をぬいて、ヨウ素液による色の変化を見やすくするため。	エタノールには葉の緑色をぬく働きがあり、これによってヨウ素液をかけたときの色の変化がはっきりとわかるようになります。

問1 葉のうら側にたくさんあり、水蒸気が出ていくための小さなあなのことを何といいますか。

1. 葉のうら側のあな      2. 葉のすじ      3. 茎くきのくだ      4. 根の毛

問2 植物の葉に日光が当たるとつくれる、植物の成長に必要な栄養分は何ですか。

1. でんぶん      2. 水      3. 二酸化炭素      4. 酸素

問3 植物の根、くき、葉にあり、根からとり入れられた水が全身に運ばれるための管のことを何といいますか。

1. 水の通り道      2. 空気の通り道      3. 栄養の通り道      4. 血液の通り道

問4 植物の葉につくれる「でんぶん」は、植物にとってどのような役割がありますか。

1. 植物が成長するための養分になる。      2. 植物の体を冷やす役割がある。      3. 根から水を吸い上げるのを助ける。      4. 葉の緑色を濃こくする役割がある。

問5 植物の葉の表面にあり、体の中の水分を水蒸気として外に出す役割をもつ小さな穴を何といいますか。

1. 葉緑体      2. 気こう      3. 師管      4. 道管

問6 葉のでんぶんを調べる実験で、葉をあたためたエタノールに入れるのはなぜですか。

1. 葉の緑色をぬいて、ヨウ素液による色の変化を見やすくするため。      2. 葉を青紫あおむらさきいろ色に染めて、でんぶんがある場所をわかりやすくするため。      3. 葉をやわらかくして、ヨウ素液がしみこみやすくするため。      4. 葉の表面のあなをふさいで、でんぶんが外に逃げないようにするため。

問7 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。

1. 茎くき      2. 根      3. 花      4. 葉

問8 植物が土から取り入れた水が、体の中を移動するときの正しい順序はどれですか。

1. くき → 根 → 葉      2. 葉 → くき → 根      3. 根 → くき → 葉      4. 根 → 葉 → くき

問9 葉をろ紙にはさんでたたき、葉の形や液をろ紙にうつしてからヨウ素液につけて、でんぶんがあるかを調べる方法を何といいますか。

1. たたきぞめ      2. ろ過      3. 蒸発      4. 顕微鏡けんびきょうかんさつ観察

問10 葉にでんぶんがあるかどうかを調べる実験で、葉をやわらかくするために、最初にお湯を使って行う作業は何ですか。

1. 葉を煮にる      2. 葉を冷やす      3. 葉を乾燥かんそつさせる      4. 葉を水で洗う

問11 植物の葉に日光が当たるとつくれる、植物が成長するために必要な養分の名前は何ですか。

1. でんぶん      2. 二酸化炭素      3. 水      4. 酸素

問12 葉にでんぶんができていないかを調べる実験で、ヨウ素液による色の変化を見やすくするために、葉の緑色をぬくときに使う液体は何ですか。

1. エタノール      2. ヨウ素液      3. 食塩水      4. 石灰水

問13 ヨウ素液をでんぶんにつけたとき、液の色はどのように変化しますか。

1. 青むらさき色に変わる      2. 赤色に変わる      3. 白くにごる      4. 黄色に変わる

問14 日光が当たっていない葉や、日光に当てる前の葉における、でんぶんのようすについて正しいものはどれですか。

1. でんぶんは生じていない。      2. でんぶんが少しだけ生じている。      3. でんぶんが日光に当たった葉と同じくらい生じている。      4. でんぶんが日光に当たった葉よりも多く生じている。

問15 植物の体の中にある「水の通り道」は、植物のどの部分にありますか。

1. 根、くき、葉      2. 根とくきだけで、葉にはない      3. くきと葉だけで、根にはない      4. 花と実だけで、根やくきにはない

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	<b>答え 1</b> 葉のうら側のあな	葉のうら側にたくさんある、水蒸気が出ていくための小さなあなを「葉のうら側のあな」といいます。
問2	<b>答え 1</b> でんぷん	植物の葉に日光が当たると、でんぷんという栄養分がつくれます。
問3	<b>答え 1</b> 水の通り道	植物の根から吸い上げられた水が全身に運ばれるための管を「水の通り道」といいます。
問4	<b>答え 1</b> 植物が成長するための養分になる。	でんぷんは、植物が成長するために使われる大切な養分です。
問5	<b>答え 2</b> 気こう	植物の葉の表面にある小さな穴を「気こう」と呼び、ここから水が水蒸気となって出ていきます。
問6	<b>答え 1</b> 葉の緑色をぬいて、ヨウ素液による色の変化を見やすくするため。	エタノールには葉の緑色をぬく働きがあり、これによってヨウ素液をかけたときの色の変化がはっきりとわかるようになります。
問7	<b>答え 2</b> 根	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問8	<b>答え 3</b> 根 → くき → 葉	植物の体の中では、根から取り入れられた水が、根からくき、くきから葉へと順番に流れていきます。
問9	<b>答え 1</b> たたきぞめ	葉をたたいて液をろ紙にうつし、ヨウ素液ででんぷんを調べる方法を「たたきぞめ」といいます。
問10	<b>答え 1</b> 葉を煮る	葉のでんぷんを調べる実験では、最初にお湯で葉がやわらかくなるまで煮る作業を行います。
問11	<b>答え 1</b> でんぷん	植物の葉に日光が当たると、植物の成長に必要な「でんぷん」という栄養分がつくれます。
問12	<b>答え 1</b> エタノール	葉の緑色をぬいてヨウ素液の色の変化を見やすくするために、あたためたエタノールが使われます。
問13	<b>答え 1</b> 青むらさき色に変わる	ヨウ素液は、でんぷんに反応すると青むらさき色に変化する性質があります。
問14	<b>答え 1</b> でんぷんは生じていない。	日光が当たっていない葉や、日光に当てる前の葉には、でんぷんは生じません。
問15	<b>答え 1</b> 根、くき、葉	水の通り道は、根からとり入れた水を全身に運ぶため、根、くき、葉のすべてにつながっています。

問1 植物のからだの中にある水が、水蒸気になって外に出ていく現象を何といいますか。

1. 蒸散                                      2. 光合成                                      3. 呼吸                                      4. 吸水

問2 植物が、生きるために必要なほとんどの水を取り入れる部分はどこですか。

1. 茎<sup>くき</sup>                                      2. 根                                      3. 花                                      4. 葉

問3 植物がたえず行っている、酸素を取り入れて二酸化炭素を出すはたらきと、日光が当たるときに二酸化炭素を吸収して酸素を出すはたらきをまとめて何といいますか。

1. 植物の養分づくり                      2. 植物の水の通り道                      3. 植物の水の吸い上げ                      4. 植物の気体交換<sup>こうかん</sup>

問4 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物の成長に必要な栄養分は何ですか。

1. でんぷん                                      2. 水                                      3. 二酸化炭素                                      4. 酸素

問5 植物のからだで蒸散が起こると、からだの中にある水はどのようになりますか。

1. 水蒸気になってからだの外に出  
ていく。                                      2. 液体のままからだの中にたまり  
続ける。                                      3. 酸素に変わってからだの外に出  
ていく。                                      4. 養分が変わってからだ全体に運  
ばれる。

問6 葉のでんぷんを調べる実験で、葉をあたためたエタノールに入れるのはなぜですか。

1. 葉の緑色をぬいて、ヨウ素液に  
よる色の変化を見やすくするた  
め。                                      2. 葉を青紫<sup>あおむらさきいろ</sup>色に染めて、でんぷ  
んがある場所をわかりやすくする  
ため。                                      3. 葉をやわらかくして、ヨウ素液  
がしみこみやすくするため。                                      4. 葉の表面のあなをふさいで、で  
んぷんが外に逃げないようにする  
ため。

問7 植物の葉にある「気こう」の性質について、正しく説明しているものはどれですか。

1. 葉の表側よりも、裏側に多くあ  
る。                                      2. 光を浴びるとデンプンをつく  
る。                                      3. 赤色や青色の絵の具を吸い上げ  
る。                                      4. 根の先端<sup>せんたん</sup>に一番多く集まっている。

問8 葉にでんぷんができているかを調べる実験で、ヨウ素液による色の変化を見やすくするために、葉の緑色をぬくときに使う液体は何ですか。

1. エタノール                                      2. ヨウ素液                                      3. 食塩水                                      4. 石灰水

問9 植物の葉に日光が当たるとつくられる、植物が成長するために必要な養分の名前は何ですか。

1. でんぷん                                      2. 二酸化炭素                                      3. 水                                      4. 酸素

問10 葉にでんぷんがあるかどうかを調べる実験で、葉をやわらかくするために、最初にお湯を使って行う作業は何ですか。

1. 葉を煮<sup>に</sup>る                                      2. 葉を冷やす                                      3. 葉を乾燥<sup>かんそウ</sup>させる                                      4. 葉を水で洗う

問11 葉をろ紙にはさんでたたき、葉の形や液をろ紙にうつしとってからヨウ素液につけて、でんぷんがあるかを調べる方法を何といいますか。

1. たたきぞめ                                      2. ろ過                                      3. 蒸発                                      4. 顕微鏡観察<sup>けんびきょうかんさつ</sup>

問12 植物の葉などにでんぷんがあるかどうかを調べるために使われる、特別な液の名前は何ですか。

1. ヨウ素液                                      2. BTB溶液<sup>ようえき</sup>                                      3. 石灰水                                      4. 食塩水

問13 植物が土から取り入れた水が、体の中を移動するときの正しい順序はどれですか。

1. くき → 根 → 葉                                      2. 葉 → くき → 根                                      3. 根 → くき → 葉                                      4. 根 → 葉 → くき

問14 植物の葉につくられる「でんぷん」は、植物にとってどのような役割がありますか。

1. 植物が成長するための養分にな  
る。                                      2. 植物の体を冷やす役割がある。                                      3. 根から水を吸い上げるのを助け  
る。                                      4. 葉の緑色を濃く<sup>こ</sup>する役割があ  
る。

## 答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 1 蒸散	植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象を蒸散といいます。
問2	答え 2 根	植物は、生きるために必要なほとんどの水を根から取り入れています。
問3	答え 4 植物の気体交換 <sup>こうかん</sup>	植物は、酸素と二酸化炭素を出し入れする気体交換 <sup>こうかん</sup> を行っています。これには、たえず行う呼吸と、日光が当たるときに盛んになるはたらきがあります。
問4	答え 1 でんぷん	植物の葉に日光が当たると、でんぷんという栄養分がつくられます。
問5	答え 1 水蒸気になってからだの外に出ていく。	蒸散は、植物のからだから水が水蒸気になって出ていく現象のことです。
問6	答え 1 葉の緑色をぬいて、ヨウ素液による色の変化を見やすくするため。	エタノールには葉の緑色をぬく働きがあり、これによってヨウ素液をかけたときの色の変化がはっきりとわかるようになります。
問7	答え 1 葉の表側よりも、裏側に多くある。	気こうは、多くの植物で葉の表側よりも裏側に多く存在しており、裏側からより多くの水蒸気が出ていきます。
問8	答え 1 エタノール	葉の緑色をぬいてヨウ素液の色の変化を見やすくするために、あたためたエタノールが使われます。
問9	答え 1 でんぷん	植物の葉に日光が当たると、植物の成長に必要な「でんぷん」という養分がつくられます。
問10	答え 1 葉を煮る <sup>に</sup>	葉のでんぷんを調べる実験では、最初にお湯で葉がやわらかくなるまで煮る作業を行います。
問11	答え 1 たたきぞめ	葉をたたいて液をろ紙にうつし、ヨウ素液ででんぷんを調べる方法を「たたきぞめ」といいます。
問12	答え 1 ヨウ素液	植物の葉にでんぷんがあるかどうかを調べるには、ヨウ素液という液を使います。
問13	答え 3 根 → くき → 葉	植物の体の中では、根から取り入れられた水が、根からくき、くきから葉へと順番に流れていきます。
問14	答え 1 植物が成長するための養分になる。	でんぷんは、植物が成長するために使われる大切な養分です。